

科目	日常生活環境学(OT)	担当	藤田 高史	履修学年	3年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

日常生活環境学では、各疾患(片麻痺・脊髄損傷・整形疾患・発達障害児)を持った本人と高齢者を取り巻く「生活環境」の観点から講義する。日常生活活動学と日常生活活動学実習で修得した各疾患の日常生活活動障害、支援方法の知識を基盤として、受講者は、さらに日常生活環境の理解とその知識を修得することを目標とする。

【履修注意】

適宜、講義の中でグループ討論の時間を設けるので、積極的かつ活発な意見交換を望む。また、工作が入る講義がある時は体操着を用意されたい。

【評価方法】

提出課題内容、グループ討論課題内容にて評価する。

【試験について】

中間試験は実施しない。

再試験対象者の条件:出席日数を満たし、期末本評定が60点未満の者

【予習・復習】

講義毎の復習を十分に行ない、理解できなかった部分については、次の講義で積極的に質問すること。

【教科書】

書籍名:「福祉用具ハンドブック」 著者:尋木佐一・他(監修) 出版社:大井企画

【参考書】

適宜紹介する

【その他の注意事項】

藤田、三田、矢崎化工の講義曜日は別になる時がある。その際は事前に連絡する。

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	日常生活環境とは(藤田)	物環境と障害・住環境改善(住宅改修基礎知識)
2	車いす・杖移動に適した住宅(藤田)	通行幅員・杖と車椅子住宅(居室・寝室・浴室・トイレ)・チェックポイント
3	日常生活環境調査(藤田)	評価・問題点の抽出・改善計画の立案
4	福祉機器製作実習1(三田)	フィルムスイッチの作製
5	福祉機器製作実習2(三田)	フロッピーディスクスイッチの作製
6	福祉機器製作実習3(矢崎化工)	住環境向上に役立つ福祉機器について学び作製する
7	脊髄損傷者・片麻痺者・虚弱高齢者と日常生活環境1(藤田)	各疾患の特性に適合した玄関・居室・トイレ・浴室の生活環境整備についてグループ討議を行う
8	まとめ(藤田)	グループ討議結果のまとめ
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		